



「大阪 PHP 経営者友の会」例会参加（活動報告）

「運、愛嬌がないとあかん」に学ぶ！

2025年4月15日（火）18時30分～21時、大阪市立総合学習センター第3会議室（大阪駅前第2ビル）にて開催された「大阪 PHP 経営者友の会」例会に参加させていただきました。参加者は7名でした。

冒頭では、事務局の木下さんのリードのもと、「信条と五つのちかい」の唱和が行われ、続いて会長代行・西形さんによる立腰とご挨拶がありました。その後、本日のテーマに関連する動画を2本視聴いたしました。特に印象深かったのは、2本目の映像で、当時 PHP 研究所社長であった江口克彦氏が語る、松下幸之助氏の「運と愛嬌」にまつわるエピソードでした。「運がいい」とは偶然による一瞬の出来事（たとえば宝くじに当たること）である一方、「運が強い」とは自らの行動で築きあげる“継続的な運”であるという説明は、大変興味深く、深く心に残りました。

また、「愛嬌」とは性別を問わず、「和顔愛語」で人に接すること。そうすることで情報が自然と集まり、「衆知を集める」ためにも重要な要素であり、経営者やリーダーにとって不可欠な資質だと学びました。

参考資料として紹介されたのは『【実践】理念経営 Labo 2023 AUTUMN』に掲載された、PHP 研究所客員の岩井虔（いわい けん）氏による記事『「運、愛嬌がないとあかん」衆知を生かせる指導者に』です。その一節——「私は、なるほど。責任者には、責任者としての本の読み方まであるのか。この方は否定的ではなく、そういうふうに肯定的に

物事を考えたり読んだりして、行動したり人を励ましたりされるのかな」と、厳しく叱られて恐縮しながらも心に深く感じたことを懐かしく思い出します。」には、読み手の心を揺さぶる温かさと深みがありました。野崎さんは、「「運がいい」と「運が強い」の違いを知り、言葉の使い方ひとつで意味が大きく変わることを実感しました。これからは、言葉をより大切に使っていきたい」と感想を述べられました。

さらに、故・小林正親氏の『松下幸之助氏が「ツイてる人」しか採用しなかった理由』にも触れられました。「自分以外の人たちの支援によって人生が成り立っているということが心の中にあると、その人からは、柔らかで温かい感謝の念というものが必ず出ます。そういう人たちが集団になったときには、やはりものすごいパワーが生まれると思うのです。松下電器が驚異的な発展を遂げた理由の一つには『ツキまくっている人たちの集団』がベースとしてあったのではないのでしょうか。」

この言葉にも、深い納得がありました。

参加者の近況報告では、前会長・岡本さんが「大阪 PHP 経営者友の会のメンバーに贈ることば」と題し



たプリントを配布され、松下幸之助翁や著名人の言葉を紹介されました。そのなかで特に印象的だったのは、「中小企業が 대기업に勝つにはスピードしかない」（守永重信・日本電産）という言葉が、岡本さんにとって経営における最も大切な信条であるというお話でした。

また川崎さんからは、大阪・関西万博開幕時の第九合唱や、雨と風のなかでカップが役立ったこと、合唱後に赤ちゃんを迎えに行き会場に戻られたエピソードなど、心温まるお話が披露され、会場に笑顔が広がりました。また、私・金原からは、「万博」まちのボランティアガイドとして活動していることをご紹介し、4月29日（火）にはKPSメンバー4人で阪急交通社の日帰りバスツアーに参加予定であることもお伝えしました。地域と未来への希望をつなぐ取り組みとして、メンバーともども楽しみにしております。

最後に、小澤名誉顧問より温かく力強いお言葉をいただき、例会は無事に締めくくられました。（文責：関西 PHP・SDGs 友の会会長 金原由香）

【事務局からのお知らせ】

「第7回 PHP 経営者友の会 交流会

日程：2025年5月24日（土）

13:30～16:30

会場：PHP 研究所 京都本部 7階ホール

テーマ：「夢は叶う！」

講師：棚橋電機株式会社 代表取締役社長

／宇宙開発協同組合 SOHLA

専務理事 棚橋 秀行 氏

参加費：1,000円 定員60名（先着順）

終了後、懇親会を実施。参加費別途必要。